「被災者の思いを届けて」

被災３県（岩手、宮城、福島）県議選
共産党が躍進＝党派超えた期待が

●９月 11 日投票の岩手県議選で日本共産党は、１議席から２議席に躍進。県政史上初の複数議席を獲得しました。また、同時におこなわれた陸前高田市議選では、得票率で 20％を超え、２，３，４位と高位当選しました。

●11 月 13 日投票の宮城県議選で日本共産党は、２議席から４議席に倍増。戸塚区が救援物資を届けた石巻・牡鹿選挙区では「党震災・救援対策センター」の責任者を務めた三浦一敏さんが党として初議席を獲得しました。塩釜区では定数２で議席を獲得、２ヵ月前の塩釜市議選でも 24％の得票率を獲得しました。

●11 月 20 日投票の福島県議選は現有３議席から５議席に躍進。県民約 200 万人が原発災害の被災者となったもとで、放射能汚染の徹底した除染と損害の全面賠償、「原発ゼロ」を訴える日本共産党に、「いま共産党を伸ばさなくてどうする」と共感が広がりました。県議会では自民、民主につぐ第３党で交渉会派になり、県政を動かす力が格段に大きくなりました。

福島県議選と同時に開票された５市町選挙でも６人が全員当選しました。

野田首相　国内と国外で「二枚舌」

深まる矛盾、アメリカに押されっぱなし

TPP交渉参加　強まる懸念

APEC首脳会議から帰国した野田首相。国内と国外で説明を変える「二枚舌」手法の矛盾が表面化しました。

12日の日米首脳会談。オバマ米大統領は、例外なき関税撤廃などの実行を野田首相に迫りました。米政府はこの会談で野田首相は「すべての物品、サービスを貿易自由化交渉のテーブルのせる」と発言したと発表。

国民の批判を恐れた日本政府は、そのような発言はないと「抗議」しましたが、訂正は求めないと。

「二枚舌」などお構いなしに激しく日本政府を攻めるアメリカ側に最初から押されっぱなしです。

野田首相のTPP参加表明までの経過自体が「二枚舌」の姑息に満ちていました。国会ではのらりくらり。APEC首脳会議参加出発直前になって「交渉参加に向けて関係国との協議に入る」と表明。

日本共産党の志位和夫委員長は、野田首相のTPP交渉参加発言に対しつぎのように語りました。

「政府が、TPP参加に向けた手続きを強行するなら、その一歩一歩が国民との矛盾をいよいよ広げ、国民の批判と矛盾をいよいよ激しくするものとなるだろう。たたかいは、これからがいよいよ重要になる」。

メディアをよむ　タイ洪水と政治災害

「しんぶん赤旗」日曜版から抜粋

記録的な大洪水とされるタイの洪水。報道番組のキャスター、コメンテーターは、一様に洪水の原因を「山間部と平野部の高低差が小さい地形だから」といってきました。

1977 年、ベトナム訪問の帰路に立ち寄ったバンコクは、雨上がりにもかかわらず、道に水があふれています。ゆっくり進むバスのガイドさんの説明。「間違えないでください。ここは川ではありません。道デス」「これは役人のワイロのためデス」「バンコクは東洋のベニスといわれていました」「大きな運河が縦横に走っていましたが、道をつくきるために埋めてしまった」「雨が降れば、水はどこへいっていいかわからない」と。

我々がベトナムからの帰りだと知っているガイドさんが、そっと質問してきました。「タイは社会主義になったらいいと思うか」と。笑いを交えた説明でしたが、それは、タイの先人たちが築いてきた〝文明〟を埋めてしまった政治に対する精一杯の批判だったのです。タイの洪水は「地形」以前に、「人災」…いや「政治災害」といっていいでしょう。

「タイの洪水」も「原発問題」も図式は同じ。一つひとつの事態を個別に伝えるのでなく、〝関連づけて〟伝えてくれれば、伝えられる側の見方も変わります。メディアの「視点」が問われます。

（仲築間卓蔵＝元ワイドショープロデューサー）

「ほっと戸塚」からお知らせ

横浜南クレサラネット

12 月度の相談会

7日（水）　16日（水）

午後6時から7時半まで

会　場　社会福祉協議会

フレンズ戸塚

問合せは「ほっと戸塚」へ

みんなで歌う会

12 月 10 日（土）

午後2時～3 時 30 分

ほっと戸塚にて

会費 300 円。初参加大歓迎

今年の歌いおさめです。

放射能測定器購入しました
募金ありがとうございました

放射能汚染地域が広がり続け、「ほっと戸塚」にも「町内の公園の放射線量を測定したいが」という相談が寄せられています。横浜西南地区委員会が、みなさんのご協力で放射能測定器を購入しました。

測定希望される方は、「ほっと戸塚」または地区委員会までご連絡ください。